對ソ作戰經過ノ概要　一〇、二二

一、當時ニ於ケル方面軍ノ配置要圖ノ如シ

二、關東軍ノ關係アル方面ノ配置

關東軍ハソ聯ノ侵攻近キヲ豫期シ六月部署ノ大變更ヲ實施シタルハルレノ第三方面軍司令部ヲ華天ヘ、(關東防衛軍ヲ改編セルモノ)ヲ新京ニ位置セシム

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

又溝附近ニハ一ケ師團分ノ陣地アリ兵力ハ守備兵ノミ洮南ニ117D(44Aニ屬ス)通遼ニ63D(44Aニ屬ス)承德ニ108Dアリタルモ主力ハ赤峰ニ移動シツツアリタリ

三、關東軍ト北支軍トノ關係

北支軍ト一應ノ協定ハ成立シアリタルモ十分ナル協定ハ成立シアラサリキ

關東軍西部國境方面ハ兵力及準備上長ク抵抗

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

出來サル為撤退スル計畫ナリキ

問題ヲ撤退セシムレハ如何ナル利アリヤ

答兵力ヲ集結シ其ノ不足ヲ補フ為ナリ

又熱河ニ於ケル築城其ノ他ノ作戰準備ハ不十

分ナリキ

四作戰經過

八月九日未明ソ軍滿洲ニ侵攻セリトノ關東軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ノ通報ニ接シ方面軍ハ豫定ノ計畫ニ基キ左ノ如ク

處置ス

イ、中ハ張家口大同附近ヲ確保シ侵攻スルソ連軍ヲ

撃破ス　新クニ北ヲ屬ス

ロ、伊藤支隊ハ豫定ノ如ク八達嶺居庸關ニ到リ

侵攻スルソ連軍ヲ阻止ス

ハ、熱河支隊ハ豫定ノ如ク承德附近ヲ確保シ侵攻ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ルソ軍ヲ撃破ス

二 8Bs ハ豫定ノ如ク古北口ニ位置シ侵攻スルソ軍ヲ阻止ス

ホ 特警ハ計畫ノ如ク唐山、豊潤ヲ確保シ侵攻スルソ軍ヲ撃破ス

ヘ 1A ハ山西省南半部ノ戰面ヲ收縮シ 114D ヲ北京ニ 5WBs ヲ張家口ニ到ラシム

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

12A ハ黄河以北ニ戰面ヲ收縮シ110Dヲ北京ニ105Dヲ濟
南ニ到ラシム
13A ハ豫定計畫ニ從ヒ依然對米作戰準備ヲ續
行ス
1WBS 2IBS 3WBS 7WBS ハ依然現任務(對延安警戒道路守備)ヲ續
行スルト共ニ狀況ニ依リ北京附近ニ轉進ノ準備
ヲナス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

當時張家口、大同附近ノ陣地ハ計畫ノミニシテ兵力
不足ニヨリ實施セラレアラス
問、從來ヨリソ軍ニ對スル顧慮ハアリタルニ不拘何
故實施セラレアラサリシヤ
答、張北、包頭附近ニハアリタリ
昭和十八年頃關東軍ハ對ソ進攻作戰ヲ實
施スル豫定ナリシ爲北支軍モ之ニ呼應シ築城ヲ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

貴施セルモ支那戰局並ニ太平洋戰局ノ影響ニ依リ中止セラレタリ

3、經過

八月十三日M化一ヶ聯隊内外德化ヲ通過南進セリ

八月十五日張北陣地（堅固ナル野戰陣地程度、ゴノ三ヶ大隊守備）前面ニ進出攻擊ヲ開始ス、我方ハ停戰ノ大詔渙發セラレ又隨時ヨリ戰鬪中止ノ命

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

令

接シタル為（十六日頃ナラン）軍使ヲ派遣シ停

戦交渉ヲ實施セントスルモ「ソ」蒙軍ハ軍使ニ對シ

發砲シ之ニ應セス

「ソ」蒙軍ハ裝備、素質共ニ良好ナラス

我方停戦ノ命令ハ受ケアリシモ「ソ」軍ニ對スル降

伏ノ命令ハ受領シアラス

我方ハ隱忍自重シテ交戦セス斯ル狀態カ十五日ヨリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二十一日頃迄續ケリ

二十日頃總軍命令ニ接シ我方ハ撤退ス二十二日ヨリ張家口撤退ヲ開始シ二十七日ニ概ネ京津地區ニ撤退完了セリ

但シ1180ノ一ヶ大隊ハ大同 張家口ノ鐵道沿線ニ在リタル為大同ニ到レリ

以上ハソ、傳聞方ヨリ武裝解除ノ要求アリテ大イニ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

困惑セリ

ソ軍ハ八路ヲ支援シ八路ヲシテ張家口ニ侵入セシム

我方ハ軍ニ先タチ居留民(約三萬)ヲ撤退セシメタリ

ソ聯トノ交渉不具合ソ聯ト關東軍トハハルビンニテ交渉セルモ内蒙方面ニハ觸レズ(ナリシ)為居留民ノ撤退ニ多大ノ困難ヲ感セリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

五、問答

問、北京西方高地帶ニテ最後迄交戰スルトセハ延安軍ノ防禦相當ナルモノト思料スルモ如何

答、兵力ヲ抽入スル故其ノ點ハ大失ナリ又延安軍ハ強クアラス

問、張北陣地ノ兵力ハソノ聯隊降伏セシヤ

答、全部撤退セリ但シ一部武器ハ殘置セリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

前回説明ニ對スル質問事項

問、敵情判断中錦州山海關方面ヨリノ軍二ヶ師團ノ侵入經路

答、外蒙ヨリ侵入セルノ蒙軍ニシテ錦州ヨリ南下スルモノト豫想セリ

問、大同張家口方面ヨリ侵攻兵力トハ別箇ナリヤ

答、然リ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

問、大同、張家口、古北口、山海關ヨリ京津地區ヘ侵入スル八
何レカ先ト判斷シアリヤ
答、古北口ヲ、山海關方面
理由、張家口方面ニハ兵力アリ、又八達嶺ニテ阻止
シ得
古北口方面、熱河ノ兵力一ヶ師團ニテ兵力手
薄ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

山海關方面關東軍ノ該方面兵力不足

然シ時機ハ若干遅レル見込(二ヶ月程度)

問、内蒙外長城線外ニ何ノ兵力アリシヤ

答、小部隊ノミ

問、何ノ兵力如何

答、2Bs、4Wk ト 8Bs ノ一大隊計十二大隊ト戰車二中隊ナリ

問、1180 蒙疆ヘノ轉用時機

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

答ソレ聯参戦後八月十日頃後入

問熱河支隊ハ承德附近ニテ戦闘スル筈ナリシヤ

答然リ玉砕ヲ期シテ戦闘スル筈ナリキ

問吉北口方面ニ特警ヨリ増援兵力ヲ出ス計畫アリシヤ

答ナシ

問冀東地區ハ特警ノミニテ他ヨリノ増援兵力ノ計畫

ハナカリシヤ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

答、XXD到着セハ特警ヲ該師團ニ配屬スル豫定ナリキ

從ッテ狀況ニ依リXXDヨリ增援スルコト可能ナルモノ

トハXXD長ニ一任シアリ如何ナル場合ニ在リテモ天津

ノミハ確保スル趣旨ナリキ

問、張家口方面ハ最後迄確保スル樣計畫シアリシモ

ソレハ〃〃ノ轉用ヲ胸算シテノコトナリヤ

答、北京及其ノ西方高地帶ノ作戰準備時間餘

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

裕ヲ得ル爲主府ヲ期シ戰闘スル若シテ計畫上胸算シアリタルモ實際上間ニ合ハサルコトモ考慮シアリタリ

問 114ノ轉用方向

答 北京ヘノ公算大ナリキ

問 183 215ノ移動ニ就テ

答 艤道守備關係上移動ハ腹案ニ止メ且体勢

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ハ計畫シアラス

實際ハ移動セルハ停戰後ナリ　12Aヨリ一ケ師團

北京ヘ轉用スル爲石門以南ノ京漢線モ確保ス

ルヲ要アリ然レトモソ連ノ侵攻速度ニ依リ止ムヲ得

サル場合ハ石門以北ノ京漢線ノミノ確保ヲ期セリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

張家口地區ニ於ケル停戦交渉ノ經緯　一〇、二四　駐蒙軍司令部

要旨

軍ハ上司ノ命令ニ基キ敵トノ交戦ヲ避ケ而モ陣地確保ノ任務ヲ完遂スル爲三日ニ亘リ五回ノ軍使ヲ派遣シ側ニ對シ停戦ヲ懇請セルモ側ハ飽ク迄即時武裝解除ヲ主張シ交渉不調ニ終レリ

此ノ間我カ方第一回ノ軍使ハ白旗ヲ掲ケタル儘我カ陣内ニ於テ敵ノ猛射ヲ受ケタルモ我カ方ハ敵側軍使ニ對シ射撃セルノ事實絶對ニ無シ何トナレバ我カ方ハ對戦車壕ヲ超エタル裝甲車ニ對シテハ射撃ヲ禁シアリ敵ノ白旗ヲ掲ケタル裝甲車ハ壕ノ前方ニ停止シアリタルヲ以テ敵側軍使ヲ射撃シタルコトハアリ得ヘカラサルコト

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ナリ

軍使ノ往復ニ就テ

軍使派遣直前ノ狀況

八月十九日朝丸一陣地直前ニ進出セルソ軍ハ裝甲車十數輛砲數門ヲ以テ我カ陣地ヲ猛射セルモ我カ方ハ敵ニシテ戰車壕ノ線ヲ突破セサル限リ又自衛上眞ニ止ムヲ得サル場合ノ外射擊ヲ行ハス忍ヒ難キヲ忍ヒ陣地ヲ確保シアリキ之ニ乘シ敵ノ砲擊ハ益々激化シ且敵散兵モ接近シ來リ其ノ儘ニテ經過センカ陣地ヲ突破セラルヽカ或ハ止ムナク眞面目ノ交戰ヲ惹起スルカ何レカニ陷ルヘキ狀況ニ迫レリ

茲ニ於テ當面ノ狀況ヲ軍ニ電話連絡セル結果軍使ヲ派シ停戰ヲ交渉スル如ク指命アリシヲ以テ先ツ瀨

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

踏トシテ第一回ノ軍使ヲ派遣スルコトヽセリ
當時兵團戰鬪司令所ニハ軍泉參謀戰況視察ノ爲屆
合ハセ第一回軍使ノ射擊ヲ受ケアル狀況ヲ目視セリ

第一回軍使　和田中尉　田村少尉（軍通譯一軍）

十九日十一時頃軍使一行ハ冷雨ヲ冒シ白旗（數布半枚）
二ヲ飜シツヽ日ノ丸峠ヲ下リ張北街道上ヲ敵方ニ向ヒ前
進セルモ敵ノ射擊ヲ受ケタルヲ以テ本道ヲ避ケ白旗ノミヲ見
ユル如ク遮蔽シツヽ前進セルモ敵ハ此ノ白旗ニ向ヒ銃砲彈
ヲ集中シ爲ニ正使和田中尉ハ右耳ニ貫通銃創ヲ受
ケ遂ニ我カ陣内ヲ出ツル能ハスシテ止ム　此ノ際我カ方陣地
ハ各所ニ白旗ヲ掲ケアリタリ

（下士官一）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

此ノ儘ニテハ到底軍使ノ派遣困難ナルヲ以テ同夜軍ヨリ擴聲器ヲ取寄セ通譯ヲ以テ我カ第一線陣地ヨリ停戦意圖ヲ放送セシメタリ

第二回軍使　辻田参謀

中川少佐
田村少尉
通譯一

翌二十日正午頃敵側ヨリ裝甲車一輛ニ白旗ヲ掲ケ對戰車壕ノ端迄來リ停止シアリタルヲ以テ地區隊長中川少佐ハ敵側モ我カ方ニ對シ軍使ヲ要求セルモノト判斷シ當時膳房堡(日ノ丸峠南方約六粁)旅團司令部ニ通譯派遣方ヲ要請シ來レリ

辻田参謀ハ通譯ヲ伴ヒ直チニ日ノ丸峠ニ到リ自ラ軍使トナリ交渉ニ出發スヘク決心ス但シ敵側ハ皆ノ如キ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

不法アリタルニ徴シ謀畧アルニアラスヤト警戒シ先ツ現地人二名ニ「今ヨリ三十分後軍使交渉ニ到ルヲ以テ暫時待タレ度」トノ紙片ヲ持タセ之ヲ先遣セルニ間モナク使者歸來シ承知トノ返信ヲ齎ラセリ 仍テ乗用車一輛ニ搭乗出發セリ 對戰車壕ノ稍手前ニテ車ヲ下リ壕上ノ橋梁ニテ待機セルニ「ソ」側軍使ハ前方約三〇〇米幾關部落ヨリ徐ニ出來リ約一〇〇米前進セルノミニテ容易ニ接近セス 當時兩軍寂トシテ銃聲ナシ

當方ハ會見地點ハ彼我勢力ノ中間タルヲ至當トシ且アマリ敵陣内ニ入ルハ敵側裝備兵力等看取スルノ結果トナリテ敵方ノ喜フ所ニアラスト察シ前進ヲ見合ハセタルニ却テ敵方ハ我ヲ手招キシアルニヨリ予等軍使ハ前進ヲ開始セリ敵方亦若干前進シ茲ニ初會見

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ヲ行フ

彼我敬禮ヲ交換シテ予右来ヲ上ケントセル際敵側正使ハ傍若無人直チニ何ヤラ口速ニ口上ヲ切出セリ通譯（會話能力十分ナラス）ヲ介シテ左ノ要旨ノ言ヲ知ル

「汝等ハ即時武裝解除ヲ受ケヨ然ラハ汝等ノ生命ハ之ヲ保證シ且將來無事本國ニ送還スヘシ

又既ニ滿洲方面ニ於テハ滿洲里、海拉爾、齊々哈爾、奉天、牡丹口四平街等何レモ我カ軍ニヨリ武裝ヲ解除セラレタリ汝等モ即刻此ノ如クセヨ」

予（參謀）曰ク

「予ハ無益ノ交戰ヲ避クル爲停戰ノ交渉ニ來レルモノナリ予等カ任務ハ上司ノ命アル迄當面ノ陣地ヲ確保スルニアリテ貴軍ニシテ我カ任務達成ヲ妨害セサル限リハ決シテ敵對スル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

モノニアラス但シ貴軍ニシテ我カ懇請ヲ聽カサランカ我亦
不本意乍ラ御相手仕ル可シ
此ノ時副使中川少佐予ニ謂テ曰ク「謂ヲ君短氣ヲ
起ス勿レ最後ノ言ハ強キニ過ク勉メテ粘リ持久ヲ圖
ラレ度」ト
依テ予語ヲ續ケテ曰ク
「予ハ當面ノ部隊ニ對シ武裝解除ヲ命スルノ權限ナシ
且説聞張家口ノ接收ハ傅作義及閻錫山モ之ヲ主
張シ居リ其ノ上貴軍迄之ヲ要求シ來レルニ於テハ我等
眞ノ有權者ノ判定ニ苦シム希クハ本國ニ電報照會セ
ラレ度　假令貴軍ニ武裝解除ヲ受クルトスルモ此ノ
廣正面ニ分散セル全部隊ニ之ヲ徹底スルニハ相當ノ
時間ヲ要ス相當ノ餘裕ヲ與ヘラレ度

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

「彼曰ク
「假令貴官武裝解除ヲ命スルノ權限ナクトモ獨斷之ヲ命セヨ」
予曰ク「不可ナリ上司ノ指示ヲ受クル迄待タレヨ少シナリトモ彼ニ色艶ヲツケントセレヲ以テナリ
彼暫ク考慮シテ曰ク
「然ラハ今ヨリ二時間ノ猶餘ヲ與ヘン現在ハ十三時二十五分ナリ尚張家口部隊ハ本日十七時三十分宣化部隊ハ明日十二時何レモ武裝解除スヘキヲ命ス貴官夫レ迄ク之ヲ圖レト
予想ヘラク「斷」ノ一字アルノミト　然レトモ陽ニ考慮ノ餘地アルカ如ク見セカケ
「應貴意上司ニ報告シテ善處セン」ト謂ヒテ袂ヲ別テリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

困二

敵ノ正使八四十五六才ノ大佐副使八三十五六才ノ大佐外二將校二護衛兵(自動短銃携行)一

第三回軍使　辻田參謀　加藤少尉　池田曹長　通譯一

第一日ノ交渉結果ヲ軍田村參謀ニ連絡シ且狀況改善ノ見込薄ナル豫想ヲ述ヘタルモ更ニ度々交渉ヲ續ケ持久セヨトノ事ナルヲ以テ第三回ノ軍使十四時三十分出發ス、前回ト概ネ同一地点ニ於テ會見ス敵側ノ軍使陣容一名ヲ加ヘタル外前回ト同シ赤星勲章ヲ佩ヒタル將校(少佐級?)予等ニ握手ヲ求メタルモ正使、副使共態度益々冷

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

嚴ナリ

予曰ク

「軍ニ連絡セシ處張家口ハ今在留邦人ヲ撤退セシメツヽアリテ混亂シアルヲ以テ貴軍我ニ假スニ三日間ノ時日ヲ以テセヨ然ラハ貴意ノ如リセン」ト

彼曰ク「不可ナリ」ト予更ニ前回ノ趣旨ヲ述ヘテ停戰ヲ懇請セルモ彼我カ通譯ノ言ヲ聞クヲ俟タス「早ク還ラサレハ時間ナカラン」ト全然予カ言ニ耳ヲ傾ケス 予脈ナシト見テ「尚上司ニ連絡シテ善處セン」ト言ヒ辭去ス

第四回軍使 中川少佐 加藤少尉 通譯 二

(内一ハ沖森通譯官)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第三回ノ軍使還リテ時ニ約束ノ十五時ニ十五分トナリヌ
然ルニ敵方ハ本格的攻撃ヲ開始セサルノミナラス却テ
先方ヨリ軍使ヲ要求シ來レリ　此ノ度ハ交渉不調
トナランカ軍使抑留セラルヽノ危險ヲ豫想シ旅團長
代理ハ軍使派遣取止ノ決心ナリシモ中川少佐身ヲ挺
シテ之ニ當ラントヽ申出タルヲ以テ四度軍使ヲ派スルコト
トナレリ
此度ハ軍使一行陣前部落(税關部落)ニ導入サレ
暫時ノ後一行敵側自動車ニ乘セラレ更ニ後方ニ連
行セラレタリ　茲ニ於テ愈〻敵ハ軍使ヲ抑留スルナ
ラントト思ハレタルモ約四十分ノ後中川少佐及沖森通
譯官ノミ送還サレタリ　加藤少尉及通譯一人遂
ニ抑留セラレタリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

中川少佐還リ報シテ曰ク
「敵ハ今ヨリ十五分以内ニ返答ナケレハ愈々張家口迄徹底的ニ攻撃スト言ヘリ」ト　仍テ無駄トハ思ヒシモ現地人二名ニ沖森通譯官飜譯ノ書翰ヲ持タセ派遣シ尚モ持久セント策シタルモ敵ハ一顧タモセス薄暮ヨリ猛烈ナル砲撃ヲ以テ應酬セリ
中川少佐ヨリ交渉ノ概要ヲ聽取スルニ敵ノ言分ハ
「日本軍ハ既ニ終戰ノ詔書ヲ載キアルニ不拘尚抵抗ヲ持續スルハ不忠ナラスヤ、即時降伏スヘシ」
中川少佐ニ對シ「貴官ハ何者ナリヤ」ト　同官曰ク「マアハ當面一局部ノ指揮官ニシテ大隊長ナリ」ト
其ノ他若干ノ事項ヲ訊問セルモ巧ミニ言ヲ外シテ歸還セル由「尚抑留者ハ決シテ虐待スルコトナケレハ安心セヨ」ト

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第五回軍使

時既ニ黄暮トナリ而モ敵砲彈雨下セル中ヲ沖森通譯官ハ身ヲ犧牲ニシテ尚モ先方ニ使セント至誠ヲ面顯シテ懇請セルヲ以テ軍ノ認可ヲ得テ第五回目ノ軍使トシテ派遣セリ 然ルニ本道上ヲ前進スレハ危險ナルヲ以テ迂回シテ行カントセシモ濃霧ノ夜未知ノ地形ニテ到達シ得ス翌二十日黎明再度出發敵中ニ到リ交渉セルモ遂ニ効ナシ敵方ハ我カ兵力特ニ戰車ノ兵力等ニ關シ訊問セルモ「予ハ軍屬ナルヲ以テ知ラスト答ヘ拳銃ヲ奪ハレテ歸還セリ

結言

之ヲ要スルニ兵團ハ停戰ニ關シテハ凡有方途ヲ講シ盡スヘキヲ盡シ只管敵ニ懇請シ且十九日朝ヨリ二十日朝ニ至ル迄嚴ニ陣前射擊ヲ愼シミ多數ノ死傷者ヲ出シテ迄隱忍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

自重セルニ不拘遂ニ敵ノ容レル所トナラズ度々陣内戰鬪ヲ惹起シ敵ニ若干ノ損害ヲ與ヘタルモ是自衛上眞ニ止ムヲ得サルモノニシテ其ノ責ハ敵側ニ歸スヘキハ言ヲ俟タサル所ナリ

因ニ丸一陣地ニ於ケル我カ損害左ノ如シ

戰死　五人
負傷　五六
行方不明　五

計　一二〇

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

「ソ」軍ノ侵攻狀況ニ就テ　一二、二五

八月九日未明東部國境虎林、綏芬河、東寧正面等ニ各歩兵一大隊ヲ基幹トセル兵力ニテ一齊ニ攻擊シ來ル

侵攻兵力ノ寡少ナリシ理由

關東軍ノ兵力減少ヲ「ソ」聯ハ恐ラク知得シ居リタルナラン然シ戰鬪開始ト共ニ果シテ國境守備

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

兵力ノ減少セリヤ否ヤハ心配セル所ニシテ小數兵
力ニテ小手調ベヲ爲シタルモノト判斷ス
十日頃ヨリ兵力ヲ增加シ本格的ニ攻勢ヲ開始ス
其ノ兵力ハ確實ニハ判明セザルモ予ノ關東軍ト連
絡セシ當時ノ記憶ニ依レバ虎林正面約三ケD、綏芬
河正面二ー三ケD、東寧正面約二ケD、琿春正面約一
ケD、第二線兵團トシテ約五ケD位ト判斷ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

北部國境黑河正面ハ二ー三ケDニテ攻撃シ來ル

海拉爾、滿洲里正面ヨリ約三ケD主力ハ三河方向ヨリ攻撃シ來ル

「ハロンアルシヤン」正面約三ケD、洮南方面ニ侵攻シ來ル 別ニ此ノ南方ヲTKD一ー二進撃シ來レリ其ノ目的ハ共ニ連京線沿線進出ニアリタルモノノ如シ

熱河方面ハ騎兵ヲ伴フ自動車部隊一ケD位ナラン

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

後方兵團ハ二ヶ三ヶDト判断セリ

大連ニハ終戦後(三十日頃)空挺部隊約二ヶB降下セリ

北鮮方面ハ終戦後ニテ判明セザルモ約三ヶD羅津清津ニ上陸セリ

佳木斯方面ハ松花江ヲ遡航シ來レリ其ノ兵力ハ判明セザルモ尠クモ一ヶDハアリタルベシ

全部第一線ニハ戦車部隊アリテ其ノ最大一日行程ハ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

百ー百五十粁ナリキ

「問」關東軍トノ衝突狀況如何

「答」虎林正面ハ玉碎セリ他ノ正面ハ國境守備部隊ハ最後迄戰鬪セルモノ「ソ」軍ハ其ノ間ヲ瀘過滲透シテ牡丹江、「バルピン」方面ニ進出シ來レリ　牡丹江ニ進出セルハ十三、四日頃、「バルピン」ニハ終戰後進出セルモノト記憶シアリ

北鮮方面ハ慶興ヲ瀘過シ羅南方面ニ進出シ來レリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

佳木斯方面ハ判明シアラザルモ十四日頃進出シ來リ日本軍部隊ハ少數ナリシモ最後迄戰鬪シタルモノノ如シ

黑河正面ハ十一日頃渡河攻擊シ來ル國境陣地ハ最後迄戰鬪セルモ敵ハ瀘過シテ進出セリ

海拉爾正面ハ十三日頃進出シ來リ海拉爾ヲ攻擊セリ　日本軍ハ最後迄戰鬪セリ　ソ軍ノ一部ハ興

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

安嶺深ク(牙克石迄ハ記憶シアリ)進出シ來レリ

興安嶺ニハ約三ケD分ノ日本軍陣地アリタリ

關東軍トシテハ新京ー奉天ノ線ニテ敵邊擊ノ態勢ヲ取レリ　兵力ハ新京ニ30A(約三ケD)奉天ニ36A(約三ケD半)其ノ中間地區ニ約一ケDアリタリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

西安攻略計畫ニ對スル質疑應答

問 110Dノ進擊路如何

答 1Aニ任セアリ 恐ラク19D、25D、69D、110Dノ中ヨリ1Dヲ予備トスベシ

問 三ツノ軍隊ガ渭河南北ヲ進擊スルコトニナルヤ

答 然ラズ12Aハ潼關攻略ノミニテ停止シ爾後ハ1Aノミトナル

問 南岸ヲ進擊セザル理由

答 地形上1Aニテ十分ナリ 2Aヲ入レル場合却ツテ混亂スル虞

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

アリ

「問」西安西方ハ南北共軍隊ノ進擊ニハ適スルモ東方モ同様ニハアラザルヤ

「答」大体同様ナルモ西安東方ハ渭河ノ下流地區ナルヲ以テ渡河ノ困難ヲ伴フ

「問」蒲州ヨリ進擊スル部隊ハ西安ヲ攻略シ又ハ無視シテ進擊スル予定ナリシヤ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

答西安攻略部隊ト直進部隊トアリ之ハ/A=仕セアリ

1804

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

對ソ作戰經過概要

一〇、二九、

一、永德、克ロ方面ノ戰況

八月十日頃、多倫方面ヨリ侵入セルソ聯軍戰車五輛騎兵約

二、〇〇〇ハ永德方面ニ前進シ八月十五日永德ニ侵入シ熱河支隊

ノ約一ケ大隊ヲ武裝解除セリ

熱河支隊ハ大部淡路セラレタルニヨリ應戰セズ

問、熱河支隊ハ三ケ大隊ノ筈ナルモ何

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

答 他ノ兵力ハ承德ニ集中セリタリ

問 他ノ二ツ大隊モ承德ニ入リ、戰車ヲル筈ナリシヤ

答 然リ

右ソノ蒙軍ノ一部（戰車二輛、砲五門、兵力五〇〇）ハ

南下シ八月三十日古北口ニ到着シ厚使ヲ以テ所在部隊（808）

ハ武裝解除ヲ要求シ來レリ 當時808ニ對シ兵ハ「ソ」軍

ニ對シ武裝解除ヲ受ケルモノニアラズ中國軍ニ投降スル旨

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

命令シアリタリ

双方軍使ヲ派遣シ會談交渉中「ロ」軍使ノ護衛兵力（騎兵約一中隊）ハ發砲シツヽ我ガ配備内ニ侵入、所在我方ノ武裝解除ヲ強行スル等ノ不法行為ヲ行ヒ我方ヲシテ遂ニ一部（歩兵約一大隊半、砲兵一大隊）ノ部隊ノ武裝解除ヲ容認スルニ止ムヤキニ至ラシメタリ

我方ハ豫期セザル不法行為ニ驚キ紛爭ノ擴大ヲ防止シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部隊ヲ整理スル為ニ十日頃部隊ヲ石匣領ニ集結ス

十五日ヨリ南下セズト言明セシ露軍ハ又石匣附近迄出

セリ

問 露軍ハ石匣ヲ占領スル企圖アリシヤ

答 石匣ニ侵入シ又密雲迄撤退スル様要求セリ

露軍ハ譲歩セバ能ク迄強行シ約束モ果ズ

密雲迄撤退シモ同様ニシテ又露軍侵入セバハ路ヲ跳

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

深淵化シ治安著シク不良トナル故ニ我カ軍ニ中・歩一
大ヲ基幹トセル兵力ヲ増派シ又コミュニスト氏ヲ煩ハシ平和的
ニ解決スル様努力ス　コミュニスト氏ハ両人為ニ現地ニ到ラズシテ
止メリ　コミュニスト氏ハ高橋参謀長ノ依頼ヲ受ケ個人ノ資格
ニテ現地ニ赴クヲ定ナリキ
二十六日頃増援部隊到着シ「ソ」軍ノ軍使ト会談シ能
ク迅速ニ南下ヲ續行スル時ハ我カニ於テモ増援兵力到着セル又

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

テ強硬ニソノ蒙側ニ對シ撤退スル様交渉セリ

ソ軍ハ兵ニ京津地區ニ侵入ノ任務ヲ有セザルモ公路ヲ

支援シ勢力ヲ扶植シタキ為南下セルモノノ如ク我方

中入レニ對シ古北口以北ニ撤退シ現在ニ及ベリ

當時武力ニ訴フル場合双方共増援兵カヲ派遣シ事態

擴大スルヲ恐レタリ故ニコルスヒヲ煩ハシ又米軍早

ク進駐シ來ルヲ希望セリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp